



思斉のしせい

大阪府立思斉支援学校 支援室だより
第70号 令和6年1月16日

生演奏の魅力について

みなさんはクラリネットという楽器をご存じですか？クラリネットといえば「ぼくの大好きなクラリネット♪パパからもらったクラリネット♪」の童謡を思い浮かべるかと思います。私は中学・高校時代に吹奏楽部に所属してクラリネットを担当していました。クラリネットは木管楽器の一種で、一枚のリードを振動させて音を出す楽器です。低音・中音・高音、それぞれの音域に応じて音色が変わり、表現に幅と奥行きを持たせる点が特徴的です。音色は人の声に似ていて、聴いているととても癒されます。

現在、私は音楽の教科を担当しています。授業中の鑑賞の時間は動画やCDなどで行うことが多い現状です。私たちが日常で聴いている動画やCDの音楽は、「電気録音技術」を用いて音の振動を電気信号に変換しています。その変換時に、生演奏にあった振動の一部を切り捨てているようでそのために生演奏に比べて自分に入ってくる情報が少なくなるそうです。

最近の授業で鑑賞時にクラリネットを演奏しました。いつもの鑑賞時はうつむき加減で画面に集中していない生徒の様子が見られる時もありますが、生演奏を聴いて耳だけでなく体全体で「音」を感じたり、音の響く「空気」を感じて手を叩いてみたり、身体でリズムをとったりしていつもの鑑賞時とはまた違った表情で鑑賞していることを感じる事ができました。

近年、インターネットが発達したことで音楽はスマホなどで聴いたり動画配信で視聴できるようになったり、いつでも手軽に楽しめるようになりました。この進歩はとても素晴らしいことです。しかし電子機器を通して聴く音楽と生演奏で感じる音楽とは同じものとは言い難いです。好きな曲やアーティストの生演奏を聴く機会があれば、ぜひ生の音楽を体感してみてください。

大阪国際滝井高等学校吹奏楽部の生演奏を聴いて



大阪国際滝井高等学校吹奏楽部のみなさんによるクリスマスコンサートが本校で行われました。「学園天国」「ぼよん行進曲」「クリスマスディスコキャロル」など聴き馴染みのある曲が演奏されました。フルート、サクソ、ホルン、トランペット、チューバ、パーカッションなど様々な音色が重なって素晴らしい響きを奏でていました。

「六甲おろし」の生歌も披露され、甲子園さながら会場は大いに盛り上がっていました！！また、クリスマスの曲が流れると一気にクリスマスの雰囲気に包まれ、演奏を聴いて歌ったり笑顔で手拍子をしたりして参加する児童・生徒の姿がたくさん見られました。

素敵な生演奏を聴くことができ、心も体も癒されることはもちろん、なんととっても奏者との一体感が生まれたり、演奏する人の動きや息づかいなどすべてがハーモニーとなって伝わってきたりして感動していた児童・生徒もいたかと思います。やはり生演奏には計り知れない魅力があることを実際に体感することができました。